

農 林 水 産 部

農 林 水 産 総 務 課

I 農 業 総 務 費

1	農業委員会等運営事業	120,078	102,837	市町村農業委員会及び県農業会議の適正な運営を図るため、農地法・農業委員会等に関する法律で規定された業務の処理と事業の助成及び指導を行った。 ・市町村農業委員会助成 80,584 ・県農業会議助成 22,253
2	6次産業化ネットワーク活動推進事業	112,234	110,324	農林漁業者を主体に、加工業者や流通・販売業者等が参画して行う新商品の開発等を支援した。
3	世界農業遺産推進事業	6,456	6,456	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全・継承と活用を図るため、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会が取り組む国内外への情報発信や地域リーダーの育成等を支援した。

II 農業協同組合指導費

1	組合検査事業	8,456	8,236	農業協同組合、森林組合、水産業協同組合、農業共済組合の適正な事業運営を図るため、農業協同組合法第94条等関連法令の規定による常例検査を実施した。
---	--------	-------	-------	--

III 農 地 調 整 費

1	自作農財産管理等特別事業	16,245	11,449	自作農の創設等を目的として国が取得した農林水産省所管国有財産について、旧農地法の規定による売払い等の処分と維持管理を行うとともに、貸付け及び適正管理のための確認調査等を行った。
---	--------------	--------	--------	--

IV 試 験 場 費

1	農林水産業競争力アップ技術開発事業	63,142	62,569	農林水産関係者などから寄せられた研究テーマを外部評価により選定した37課題の研究を9試験場で実施し、新品種の育成や高品質生産・省力化等の技術開発に取り組んだ。
2	農林水産関係競争的資金試験研究事業	36,324	36,324	農林水産省等の外部機関の競争的（公募型）研究資金を獲得し、20課題の共同研究を8試験場で実施し、高品質生産・省力化技術等の開発に取り組んだ。

食 品 流 通 課

I 農業振興費

1	県産品販路開拓コーディネート事業	21,621	18,409	全国の百貨店や高級スーパー等への販路拡大を目指し、商談会や和歌山フェアを開催するなど生産者・製造者の販路開拓を支援した。また、Yahoo!ショッピングにおいて県のインターネットショッピングサイト「ふるさと和歌山わいわい市場」を展開し、バナー広告等で認知度向上に取り組んだ。
2	わかやま紀州館運営事業	14,967	14,967	東京有楽町にあるアンテナショップ「わかやま紀州館」で首都圏を中心に県産品の魅力を発信するとともに販売を行った。
3	国内大型展示会出展事業	37,352	36,696	「FOODEX JAPAN 2018」や「スーパーマーケット・トレードショー2018」等首都圏で開催される大型展示会や4年に一度の食博覧会・大阪に県ブースを設置することで、県内生産者・製造者の販路開拓支援を行うとともに国内外のバイヤーに大々的に県産品のPRを行った。
4	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業	25,795	25,408	県産農水産物・加工食品等の海外での販路拡大を目指し、国際食品見本市への出展や、海外の百貨店・高級量販店等でのわかやまフェアの開催、海外バイヤーの招へいによる商談会の実施などの取組を行う和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会を支援した。
5	わかやまブランド支援事業	10,361	8,371	県産品のブラッシュアップを促進するためサプライヤーが希望する分野の専門アドバイザーの派遣を行うとともに、HACCP導入を検討している事業者向けにセミナーを開催した。
6	高級ブランド新構築事業	15,000	13,402	県産食品のブランド力や認知度を上げるため、JAグループとの協働によりトップセールスや百貨店フェア等のプロモーションを展開するとともに、大手企業とのコラボレーションにより本県食材の魅力を全国に発信した。
7	「おいしい!健康わかやま」定着PR戦略事業	6,898	6,898	イメージキャラクターの起用やマスメディアの活用等により、機能性PRや県産食材の「おいしい!健康わかやま」のイメージ定着を行った。

農業農村整備課

I 農業総務費

1	中山間地域等直接支払事業	971,944	969,917	中山間地域等における不利な農業生産条件を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や、農業・農村の有する多面的機能の増進等、農業生産活動を継続・発展していくための活動を支援した。
---	--------------	---------	---------	--

II 土地改良費

1	中山間ふるさと・水と土	19,131	15,810	中山間地域活性化を図るための基金を造成し、その運用益等により土地改良施設及び農
---	-------------	--------	--------	---

保全対策事業				地の多面的機能の維持及び強化に係る調査研究・啓発活動を実施した。
2 国営造成施設管理事業	21,598	21,597		国営十津川紀の川土地改良事業で造成した施設の維持管理費を負担した。
3 国営事業等負担金事業	954,805	950,712		国営土地改良事業及び森林研究・整備機構事業の負担金(完了地区償還金、直入負担金)を支出した。
4 国営造成施設管理体制整備促進事業	71,780	71,780		国営事業及び附帯県営事業により造成された農業水利施設管理の多面的機能発揮分に対する土地改良区への支援、管理計画の策定、農業水利施設の役割や多面的機能等に関して地域住民に啓発広報活動を実施した。
5 県営中山間総合整備事業	149,896	61,775		中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。
			〔翌年度繰越額〕	
			88,002	
6 基幹水利施設ストックマネジメント事業	322,009	233,512		県営土地改良事業により造成された農業水利施設の長寿命化に向けた取組として、機能保全対策を実施した。
			〔翌年度繰越額〕	
			88,497	
7 農村総合整備事業	40,127	37,992		活力ある農村地域をつくるため、市町村が実施する生産基盤整備及び生活環境整備事業に対し補助した。
			〔翌年度繰越額〕	
			2,080	
8 県単小規模土地改良事業	110,464	95,777		市町村や農業者団体が実施する、国の採択基準に満たない農道整備、かんがい排水、ため池保全、ほ場整備等に対し補助した。
9 団体営中山間地域果樹農業再生基盤整備事業	4,097	74		自然的、社会的な諸条件において不利な状況にある中山間地域の果樹園において、優良品種への転換や老木園の若返りに併せて行う条件不利克服のための生産基盤整備に対し補助した。
			〔翌年度繰越額〕	
			4,023	
10 県営農業水利施設保全合理化事業	73,538	73,537		用排水施設の操作・管理に係る施設管理者の労力軽減を図るため、施設の省力化対策や遠隔監視設備の設置を実施した。
11 多面的機能支払事業	288,572	287,314		農業・農村が持つ国土保全や水源かん養・景観形成など、多面的機能が維持・発揮されるための活動を支援した。
12 県営農業基盤整備促進事業	538,710	221,302		地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。
			〔翌年度繰越額〕	
			317,408	
13 団体営農業基盤整備促進事業	75,871	61,875		地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る市町村等に対し補助した。
			〔翌年度繰越額〕	
			13,996	

(前年度繰越分)

1	基盤整備事業	6,033	6,033	農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立等を促進するため、市町村が実施する土地基盤の整備事業に対し補助した。
2	県営中山間総合整備事業	123,000	123,000	中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。
3	基幹水利施設ストックマネジメント事業	67,169	67,169	県営土地改良事業により造成された農業水利施設の長寿命化に向けた取組として、機能保全対策を実施した。
4	農村総合整備事業	3,967	3,967	活力ある農村地域をつくるため、市町村が実施する生産基盤整備及び生活環境整備事業に対し補助した。
5	県営中山間地域ほ場環境整備事業	10,153	10,153	中山間地域における産地維持を支援するため、営農上の懸案となっている基盤整備を行った。
6	団体営中山間地域果樹農業再生基盤整備事業	13,842	13,842	自然的・社会的な諸条件において不利な状況にある中山間地域の果樹園において、優良品種への転換や老木園の若返りに併せて行う条件不利克服のための生産基盤整備に対し補助した。
7	県営農業基盤整備促進事業	82,492	82,492	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。
8	団体営農業基盤整備促進事業	82,784	77,715	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る市町村等に対し補助した。

Ⅲ 農地防災事業費

1	県営ため池等整備事業	1,039,753	759,761	ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。
			〔翌年度繰越額〕 279,992	
2	地すべり防止対策事業	488,604	97,625	地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。
			〔翌年度繰越額〕 390,979	
3	ため池調査事業	200,692	189,505	災害の未然防止、防災力向上を推進するために、主要なため池の諸元等の把握、対策計画の策定及びハザードマップ作成を支援した。
			〔翌年度繰越額〕 11,187	
4	ため池保全体制支援事業	1,156	275	ため池の水難事故防止及び保全活動の啓発・普及を実施した。
5	中山間総合農地防災事業	137,668	110,919	中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。
			〔翌年度繰越額〕 26,749	
6	県営防災ダム事業	71,400	71,400	既存施設の老朽化により起こる洪水等の災害を防止するため、ゲート及びダム管理施設

等の更新に必要な整備工事等を実施した。

(前年度繰越分)

1 県営ため池等整備事業	209,770	209,770
2 地すべり防止対策事業	122,005	122,005
3 中山間総合農地防災事業	10,045	10,045
4 県営防災ダム事業	67,443	67,443

ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。

地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。

中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。

既存施設の老朽化により起こる洪水等の災害を防止するため、ゲート及びダム管理施設等の更新に必要な整備工事等を実施した。

果 樹 園 芸 課

I 農業経営対策費

1 農業活性化支援事業	307,202	299,158
		〔翌年度繰越額〕
		2,475

農業の活性化を図るため、生産・流通施設の整備等を支援した。

・事業費補助金	296,906
・事務費補助金	161
・県指導事務費	2,091

[強い農業づくり交付金]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
有田川町	かんきつ選果機の整備	267,840	124,000

[産地パワーアップ事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
橋本市	乾燥調整機のリース整備	26,667	12,345
上富田町	農産物処理加工施設の整備	336,420	155,750
計		363,087	168,095

[経営体育成支援事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
かつらぎ町	農業用機械の整備	2,950	880
広川町	農業用機械・施設の整備	3,976	1,906
印南町	農業用機械の整備	4,860	2,025
計		11,786	4,811

2 グリーンツーリズム推進事業 7,521 2,953

農山村での観光客の受け入れを通じ農林業者の所得向上を図るため、地域の農林資源を活用した体験・交流施設の整備や地域による情報発信活動などを総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
かつらぎ町	農家民泊整備	1,661	500
広川町	農家民泊、観光農園整備、推進事業	3,592	1,289

(前年度繰越分)

1 農業活性化支援事業 804,148 803,319

農業の活性化を図るため、生産・流通施設の整備等を支援した。

[強い農業づくり交付金]

- ・事業主体 JAながみね、事業内容 かんきつ選果場の整備
- ・事業費補助金 557,500

[産地パワーアップ事業]

- ・事業主体 きのくに農業村、事業内容 生産技術高度化施設の整備
- ・事業費補助金 80,780
- ・事業主体 かつらぎ町、事業内容 農産物処理加工施設の整備
- ・事業費補助金 165,039

II 農業振興費

1 わかやま食育推進総合対策事業 7,061 4,468

県食育推進計画に基づき、総合的かつ計画的な食育の推進を行った。また、県産農産物を活用した食育・地産地消の推進と地域における食育実践活動への支援を行った。

[県食育推進会議の運営、普及啓発]

- ・食育の推進を県民運動として展開するため、食育推進体制の整備、食育啓発事業の実施及び食育ボランティアの活動体制の整備等を行った。

[和歌山版「食事バランスガイド」の普及・活用]

- ・県産農産物や郷土料理を活用した和歌山版「食事バランスガイド」を普及・活用することにより、県民のバランスのとれた食生活の実現、地産地消、地域食文化への理解促進を図った。

[食育実践地域活動支援事業]

- ・地域の特性を活かした食育実践活動への支援を行った。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
一般社団法人和歌山県調理師会	出前授業の実施	411	200
JAながみね	生産者と消費者との交流活動	432	150

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J A紀の里	出前授業の実施、農林水産体験イベント	1,014	500
有田川町	出前授業の実施、学童農園等の設置	179	89
J Aありだ	生産者と消費者との交流活動	450	189
和歌山県漁業士連絡協議会	出前授業の実施	104	50
和歌山南漁業協同組合女性部	出前授業の実施	50	22
上富田町農業振興協議会	出前授業、農作業体験の実施	263	131
J Aみくまの	生産者と消費者との交流活動	292	125
新宮周辺地場産青果物対策協議会	出前授業の実施	201	100
和歌山県漁協女性部連合会	出前授業の実施	182	91
産直カフェエフノカッテ経営者会	生産者と消費者との交流活動	235	64
伊都地方農業振興協議会	出前授業の実施	187	93
計		4,000	1,804

2 野菜花き産地総合支援事業

195,902

190,198

野菜花き産地の拡大や活性化を図るため、省エネ、高品質化、低コスト化などに必要な設備導入や消費拡大活動を総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
ニューリーフ	遮光（遮熱）ネット、炭酸ガス発生装置、多重カーテン、収穫機、定植機、野菜袋詰機の導入	28,585	8,820
西部アグリ	パイプハウスの高度化（耐風性）、遮光（遮熱）ネット、循環送風機、収穫機、野菜袋詰機の導入	80,460	23,695
J A紀の里生産販売委員会	パイプハウスの高度化（耐風性）、高設栽培装置、多重カーテン、定植機、防除機械の導入	30,264	9,074
紀の川苺出荷組合	紫外線照射装置、遮光（遮熱）ネットの導入	1,595	491
紀ノ川農協	パイプハウスの高度化（耐風性）の導入	6,949	2,116
安田島いちご組合	パイプハウスの高度化（耐風性）の導入	400	123

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J Aありだ	炭酸ガス発生装置、予冷庫の導入	1,892	582
津木ハウス部会	循環送風機の導入	404	122
i n a m i 営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多段サーモ、成形機の導入	41,421	12,755
イナミ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、放熱フィン、結束機、自動計量器の導入	57,220	17,020
いなみ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、高設栽培装置、自動換気装置、遮光（遮熱）ネット、循環送風機、多段サーモ、放熱フィン、自動結束機、自動施肥機、成形機、自動梱包機の導入	77,509	22,574
おしね組合	パイプハウスの高度化（耐風性）の導入	6,576	2,029
ごぼう営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、ミスト装置、紫外線照射装置、遮光（遮熱）ネット、炭酸ガス発生装置、循環送風機、育苗施設、成形機、防除機械の導入	35,770	10,845
ひだかがわ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、ミスト装置、高設栽培装置、紫外線照射装置、自動換気装置、遮光（遮熱）ネット、循環送風機、成形機、定植機の導入	15,623	4,636
ひだか営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、遮光（遮熱）ネット、ハウス浸水防止、放熱フィン、成形機、定植機、肥料施用機、選別機の導入	43,803	11,364
みなべ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、	27,509	8,381

事業主体	事業内容	事業費	補助金
	耐暑性)、高設栽培装置、自動換気装置、遮光(遮熱)ネット、循環送風機の導入		
南部営農組合	パイプハウスの高度化(耐風性)、遮光(遮熱)ネット、循環送風機の導入	33,434	10,313
紀州の花生産協同組合	自動換気装置、自動灌水設備、遮光(遮熱)ネット、循環送風機、多重カーテンの導入	5,296	1,632
J A 紀州	推進事業(母の日参りプロジェクト)	2,905	1,344
名田営農組合	パイプハウスの高度化(耐風性、耐暑性)、自動計量器、成形機、定植機の導入	64,974	18,483
名田中央営農組合	パイプハウスの高度化(耐風性、耐暑性)、育苗施設の導入	67,604	17,318
有限会社井ノ上精花園	遮光(遮熱)ネット、野菜袋詰機の導入	1,179	362
J A 紀南	遮光(遮熱)ネット、循環送風機、多段サーモ、多重カーテンの導入	1,561	480
くろしお苺生産販売組合	パイプハウスの高度化(耐風性)、高設栽培装置の導入	8,856	2,653
JAグループ 和歌山農業振興センター	推進事業(研修会の開催)	5,504	2,500
和歌山県いちご生産組合連合会	推進事業(新戦略商品の開発)	1,051	486
計		648,344	190,198

3 果樹産地競争力強化総合
支援事業

88,056

76,618

果樹産地ごとの課題に応じた生産対策を総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J A わかやま	推進事業(かきの機能性PR)	205	95
J A ながみね	チャレンジ支援、マルチ、かん水施設、改植、予冷庫の整備、推進事業(かき機能性PR) 2,110 a	18,622	5,859

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J A紀の里	防風ネット、マルチ、かん水施設、園内道等の整備、推進事業（かき対米輸出実証ほの設置、かき機能性PR、若年層向け新商品開発） 453 a	15,202	5,198
J A紀北かわかみ	チャレンジ支援、かん水施設、防風ネット、保冷库、園内道等の整備、推進事業（対米輸出実証ほの設置、海外におけるかき新商品開発） 615 a	34,586	10,757
J A紀北かわかみ生産販売委員会	推進事業（かきの機能性PR）	1,285	595
J Aありだ	チャレンジ支援、改植、マルチ、冷蔵庫、園内道の整備、推進事業（かきの機能性PR） 1,197 a	18,098	5,694
A Q中央選果場柑橘部会	チャレンジ支援、改植、マルチ、循環送風機、園内道等の整備 804 a	7,196	2,290
A Q総合選果場柑橘部会	改植、マルチ、園内道等の整備 560 a	6,692	2,135
A Qマル南選果場柑橘部会	チャレンジ支援、マルチの導入 250 a	2,261	698
有田市農業研究会	チャレンジ支援、改植、マルチの導入、園内道の整備 360 a	9,107	2,852
マル有共選組合	選果ラインの機能強化	4,536	1,400
和歌山電子農業研究会	冷蔵庫の導入	2,830	873
かえる会	園地の平坦化	1,132	377
J A紀州	保水対策、選果プールラインの機能強化 252 a	53,241	16,432
みなべ梅対策協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、PR）	3,340	1,670
日高川果樹協議会	かん水施設の導入、園内道の整備、廃園 64 a	1,399	457
由良町果樹対策協議会	マルチの導入 47 a	537	166
かわべ果樹生産者同志会	センサー付選果機の導入	4,560	1,520
日高川町若い農業者部会	チャレンジ支援（ドローンの導入）、推進事業（みかん機能性研究PR）	858	372
J A紀南	チャレンジ支援、改植、マルチ、かん水	32,249	10,025

事業主体	事業内容	事業費	補助金
	施設、保水対策	5,574 a	
紀州田辺うめ振興協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、PR）	9,022	4,509
県かんきつ生産振興部会	推進事業（みかん新品種導入検討、実証ほ品質調査）	244	113
県農業協同組合連合会	推進事業（かきの機能性成分分析・PR、みかん機能性表示書類作成、海外市場におけるブランド化）	5,264	2,531
	計	12,286 a	76,618

- 4 みかん厳選出荷促進事業 38,000 29,266 温州みかんの市場評価を高めるため、JAグループが実施する厳選出荷の取組を支援した。
- 5 学校給食での和歌山産品利用促進事業 11,270 10,814 学校給食等での地場産農水産物の利用拡大を図るため、県内小学校等での給食や学習活動にうめ、もも、かき、みかんを提供した。

[学校給食等への県産農水産物の提供]

・学校給食への提供

みかん 実施期間 平成29年11月 実施校数 384校

・学習活動の教材として提供

うめ 実施期間 平成29年6月 実施校数 251校

もも 実施期間 平成29年7月 実施校数 252校

かき 実施期間 平成29年10月 実施校数 252校

Ⅲ 農作物対策費

- 1 生産調整推進対策事業 42,385 41,135 経営所得安定対策を推進するとともに、生産数量目標に基づく米の需給均衡、適正な流通に努めた。
- ・平成29年産生産数量目標 34,108 t（面積換算6,899ha）
 - ・平成29年産作付確定面積 6,560ha
 - ・市町村補助金 39,279
 - ・県協議会補助金 1,473

Ⅳ 土壌肥料対策費

- 1 エコ農業推進モデル事業 8,535 7,068 土づくりを基本とした化学肥料、化学農薬に過度に頼らない環境に優しいエコ農業を推進するとともに、有機、特別栽培認証制度を活用したエコ農産物の高付加価値化と消費

拡大を推進した。

- ・エコ農業推進モデル園の設置（県内7箇所）
- ・環境保全型農業直接支払事業の実施

市町村名	取組面積（a）	申請件数(件)	補助金	備考
海南市	749	3	378	有機農業、草生栽培
紀の川市	397	2	238	有機農業
岩出市	411	1	246	有機農業
橋本市	36	1	22	有機農業
かつらぎ町	703	2	417	有機農業、草生栽培
有田市	259	1	155	有機農業
広川町	348	1	130	草生栽培
有田川町	570	1	342	有機農業
みなべ町	1,711	2	728	有機農業、草生栽培、 性フェロモン剤導入
田辺市	1,730	2	1,020	有機農業、草生栽培
白浜町	123	1	74	有機農業
上富田町	100	1	60	有機農業
計	7,137	18	3,810	

V 植物防疫費

1 農作物病害虫対策事業 8,805 7,147

県内農作物の病害虫の発生状況をほ場での調査を通じて迅速・的確に把握し、発生予察を実施するとともに、予察情報の迅速な提供、病害虫の防除技術の導入指導等により農作物の被害防止に努めた。

情報の種類	回数	備考
発生予察情報	18回	予報8回（月1回4～11月） 注意報3回、その外7回
ホームページ	随時	病害虫の発生情報の提供

2 わかやま農産物安心プラス事業 11,562 10,631

農薬残留の検査を二段階（収穫前と出荷段階）で実施するとともに、基準超過時の対応マニュアルの整備等に取り組んだ生産者団体等を、審査会での審査結果を受けて認証した。

- ・認定団体数 13団体
- ・認証品目 31品目（果樹11品目、野菜19品目、米）

〔出荷段階残留農薬検査の実施〕

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
J Aわかやま	35	1,380	639	しょうが、キャベツ、だいこん等
J Aながみね	21	828	383	温州みかん、かき等
J A紀の里	71	2,799	1,296	かき、もも等
J A紀北かわかみ	62	2,444	1,131	かき、温州みかん、もも等
J Aありだ共選協議会	75	2,957	1,369	温州みかん等
J A紀州	130	5,033	2,330	うめ、温州みかん、ミニトマト等
J A紀南	82	2,657	1,230	うめ、温州みかん
J Aみくまの	3	118	55	ほうれんそう、いちご、たかな
県農業協同組合連合会	25	985	456	米
北山村じゃばら生産組合	17	680	340	じゃばら
ありだフルーツ農家直送の会	1	81	37	温州みかん
てらがき農園	1	59	28	うめ
大内茂樹	1	39	19	米
計	524	20,060	9,313	

3 農作物鳥獣害防止総合対策事業

420,388

388,970

野生鳥獣による農作物被害を減少させるため、捕獲を強化するとともに、防護、環境整備を総合的に推進するために事業を実施した。

○捕獲

[有害鳥獣捕獲]

・捕獲数 イノシシ 13,157、シカ 10,023、サル 978、その他獣類 1,252
鳥類 240 計25,650頭

・補助金 234,256

[シカ管理捕獲]

・捕獲数 1,525頭、委託費 18,879

[サル管理捕獲]

・捕獲数 137頭、委託費 822

[免許取得助成]

・わな免許 158人 銃免許 44人、補助金 3,276

[狩猟前訓練支援]

・訓練者数 1,756人、補助金 6,156

[指定管理鳥獣捕獲等事業(夜間銃猟)]

・捕獲数 42頭、委託費 12,031

○防護

[防護柵設置支援]

・事業費 98,533、補助金 31,634、延長距離168 k m、17市町

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

・防護柵設置 事業費 36,915、補助金 36,522、延長距離45 k m、9市町・協議会

○環境整備

[農作物鳥獣害対策アドバイザーの育成]

・研修会 5回、認定者数 18人 延べ 197人

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

・推進事業 事業費 23,616、補助金 17,332、15協議会

畜 産 課

I 畜産振興費

1 畜産経営指導事業 5,038 5,026

畜産農家、特に後継者の育成と経営の安定を図るため、経営診断指導を実施するとともに、畜産関係情報のデータベース化及び提供等を行った。

[畜産経営指導]

診 断 事 業 名	酪 農	肉用牛	養 豚	採 卵	ブローラー	計
経 営 改 善 指 導	6	37	0	0	—	43
高 度 化 支 援 指 導	8	7	11	1	2	29
計	14	44	11	1	2	72

2 熊野牛品質向上対策事業 5,900 5,802

[肉用牛改良増殖推進]

肉用牛経営の安定化を図るため、熊野牛個体情報の収集・分析を行い、産肉能力の育種価等の情報を生産者に提供した。

・委託事業者名：(公社) 畜産協会わかやま

・委託料 1,213

[増体系繁殖雌牛増頭支援、熊野牛子牛出荷増頭、熊野牛子牛品質向上]

育種価を活用した繁殖雌牛の増頭奨励及び受精卵を活用した増頭対策等を行った。

・事業実施主体：熊野牛産地化推進協議会 外1件

・補助金 3,458

3	活かそう、つなごう！わかやまジビエ事業	8,005	7,022	農作物の獣害対策として捕獲されるイノシシ、シカを食肉として地域資源等に活かせるよう食肉流通等を推進した。また、より安全で安心な「わかやまジビエ」を提供するため「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」並びに「わかやまジビエ肉質等級制度」の普及推進を図った。
4	家畜堆肥利用体制構築事業	2,100	1,672	県内産家畜堆肥の有効活用を図るため、耕種農家と畜産農家のマッチング、畜産・耕種農家に対する情報収集体制の整備、畜産農家への堆肥生産技術指導、堆肥散布実証展示会を開催し、家畜堆肥の流通円滑化に努めた。
5	畜産振興総合事業	5,674	4,826	和歌山県ブランドの「うめどり・うめたまご」の普及推進を図るとともにみつばちの分布の適正化、みつ源増殖の推進等養鶏・養蜂の振興を推進した。 新規畜産就農希望者に対する相談窓口を設置し、新規就農者の確保を図るとともに、新規畜産就農者が畜産経営を開始するのに適している特用家畜の普及定着化を推進した。 〔畜産生産基盤育成強化の取組〕 ・新規畜産就農希望者等に対する相談、指導 〔特用家畜振興推進事業〕 ・特用畜産物の普及啓発活動の実施 ・特用家畜の各種調査指導の実施

II 家畜保健衛生費

1	家畜伝染病予防事業、家畜診療及び人工授精事業	42,744	38,677	家畜保健衛生所において、下記のとおり予防注射・検査及び診療・人工授精等を実施し、畜産経営の安定と生産性の向上及び畜産物の安全性の確保に努めた。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施頭羽(件)数</th> <th>事業名</th> <th>実施頭羽(件)数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伝達性海綿状脳症(牛)検査</td> <td>23頭</td> <td>豚伝染性疾病立入検査</td> <td>8,731頭</td> </tr> <tr> <td>鶏伝染性疾病立入検査</td> <td>303,316羽</td> <td>牛白血病検査</td> <td>405頭</td> </tr> <tr> <td>オーエスキー病検査</td> <td>180頭</td> <td>豚丹毒予防注射</td> <td>997頭</td> </tr> <tr> <td>ニューカッスル病検査</td> <td>1,030羽</td> <td>豚流行性脳炎予防注射</td> <td>81頭</td> </tr> <tr> <td>家禽サルモネラ感染症検査</td> <td>885羽</td> <td>アカバネアノ・チュウダノ3種混合予防注射</td> <td>1,033頭</td> </tr> <tr> <td>高病原性鳥インフルエンザ検査</td> <td>2,600羽</td> <td>牛5種混合予防注射</td> <td>560頭</td> </tr> <tr> <td>腐蛆病検査</td> <td>5,092群</td> <td>検診検査</td> <td>1,512頭</td> </tr> <tr> <td>牛伝染性疾病立入検査</td> <td>19,377頭</td> <td>人工授精</td> <td>332件</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	実施頭羽(件)数	事業名	実施頭羽(件)数	伝達性海綿状脳症(牛)検査	23頭	豚伝染性疾病立入検査	8,731頭	鶏伝染性疾病立入検査	303,316羽	牛白血病検査	405頭	オーエスキー病検査	180頭	豚丹毒予防注射	997頭	ニューカッスル病検査	1,030羽	豚流行性脳炎予防注射	81頭	家禽サルモネラ感染症検査	885羽	アカバネアノ・チュウダノ3種混合予防注射	1,033頭	高病原性鳥インフルエンザ検査	2,600羽	牛5種混合予防注射	560頭	腐蛆病検査	5,092群	検診検査	1,512頭	牛伝染性疾病立入検査	19,377頭	人工授精	332件
事業名	実施頭羽(件)数	事業名	実施頭羽(件)数																																					
伝達性海綿状脳症(牛)検査	23頭	豚伝染性疾病立入検査	8,731頭																																					
鶏伝染性疾病立入検査	303,316羽	牛白血病検査	405頭																																					
オーエスキー病検査	180頭	豚丹毒予防注射	997頭																																					
ニューカッスル病検査	1,030羽	豚流行性脳炎予防注射	81頭																																					
家禽サルモネラ感染症検査	885羽	アカバネアノ・チュウダノ3種混合予防注射	1,033頭																																					
高病原性鳥インフルエンザ検査	2,600羽	牛5種混合予防注射	560頭																																					
腐蛆病検査	5,092群	検診検査	1,512頭																																					
牛伝染性疾病立入検査	19,377頭	人工授精	332件																																					
2	家畜衛生技術指導事業	3,826	3,826	安全・安心な畜産物の生産を推進するため、生産から消費段階までの一貫した家畜衛生対策を実施するとともに、県内畜産業の安定的な生産を推進するため、生産性向上対策及び家畜疾病低減対策等を実施した。																																				
3	高病原性鳥インフルエン	40,155	40,153	平成23年2月の高病原性鳥インフルエンザ発生時に、紀の川市所有地に埋却した鶏、飼																																				

ザ埋却物最終処分事業

料、鶏卵等の埋却物の最終処分を実施した。

経営支援課

I 農業総務費

1	農業経営基盤強化促進対策事業	8,178	6,018
2	農地流動化支援事業	49,660	41,567

効率的で安定的な農業経営者の育成を図ることを目的として、担い手育成総合支援協議会を核に認定農業者制度の推進等を行った。

担い手への農地集積と流動化により、優良農地の維持確保と農業の生産性の向上を図るため県に基金の造成を行うとともに、造成した基金等を活用して（公財）和歌山県農業公社（農地中間管理機構）が行う事業等に対し助成を行った。

- ・（公財）和歌山県農業公社助成 31,783
- ・基金造成額 379

II 農業改良普及費

1	農業担い手対策事業	342,797	328,060
2	地域農業再編普及活動事業	13,647	12,554
3	就農支援センター運営事業	7,937	7,260
4	就農支援センター社会人課程事業	641	629

青年農業者の育成やIターンなど幅広く農業の担い手を育成・確保するため、就農相談活動の実施、就農支援会議等を開催した。

また、市町村に対して地域農業のマスタープランとなる「人・農地プラン」の作成支援を行うとともに、就農研修期間及び就農初期段階の青年就農者の所得安定を図るため、農業次世代人材投資資金を交付した。

- ・人・農地プランの作成・更新 12市町 36プラン
- ・農業次世代人材投資資金の交付 273人 323,390

効率的かつ安定的な農業経営体を育成するため、技術実証圃の設置運営・農業者の意向に即した経営指導、遊休農地解消の推進、新規就農者、青年農業者のスキルアップ研修の開催等の普及活動を実施した。

新規就農希望者に対する就農相談や就農に必要な各種研修の体系的実施及び就農希望地における円滑な就農と定着に向けたサポートを行った。

- ・相談延べ件数 269件
- ・農業体験研修受講者数 171人
- ・技術修得研修受講者数 22人

就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術習得のための実践的な訓練を実施した。

III 農業協同組合指導費

1 農協運営指導事業	1,420	1,333	農協事業運営の一層の高度化・効率化を図るため、農協のコンプライアンス態勢や信用事業の強化に対する調査指導を行った。
------------	-------	-------	---

IV 農業金融対策費

1 農業近代化資金等運営管理事業	24,021	22,446	農業経営の近代化を図る農業者等に貸し付けた農業近代化資金の利子補給を実施した。 ・平成29年12月31日現在融資残高 2,208,330 ・本年度承認額 124,510 ・本年度利子補給補助金 18,921
2 生活営農資金等融資・管理事業	2,001	1,960	農業者の経営安定と生活環境の整備等を目的とする長期低利資金の利子補給を実施した。 ・平成29年12月31日現在融資残高 302,180 ・本年度利子補給補助金 1,960
3 農業経営基盤強化資金利子補給事業	1,081	1,023	経営感覚に優れた経営体の育成に資するため、認定農業者が計画を達成するために借り入れる農業経営基盤強化資金の利子補給を実施した。 ・平成29年12月31日現在融資残高 573,227 ・本年度利子補給補助金 1,023

V 農業共済団体指導費

1 農業共済指導事業	523	402	農業共済組合が行う共済事業を本県農業のセーフティネットとして機能させるため、農業共済組合の運営、業務について指導監督を実施した。
------------	-----	-----	--

VI 農林大学校費

1 養成事業	23,250	22,079	次代の農業・農村の担い手にふさわしい広い視野と専門知識、技術、経営能力及び組織活動、能力を持った優れた人材を養成した。
2 研修事業	1,142	1,056	農村の青少年や農業者への研修及びIターン・Uターンを含む就農希望者に対する基礎的な研修等、担い手を育成するための体系的かつ継続的な短期研修教育を行った。
3 社会人課程事業	1,283	1,275	就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術を習得するための実践的な訓練を実施した。

林業振興課

I 林業総務費

1	紀の国森林管理推進事業	36,600	35,409	地域森林計画の樹立・変更及びその実行管理のため、森林現況調査、森林地理情報管理システム（森林GIS）及び森林情報精度向上支援ソフトの保守・機能改修並びに森林情報整備を行った。また、林地台帳及び地図原案を作成した。
2	林業普及指導事業	6,162	5,781	林業普及指導職員（36人）を配置し、森林・林業施策の円滑な実施、地域リーダーの育成及び林業技術・知識の普及等を図るため、森林所有者等への普及指導活動を行った。また、普及指導職員の資質・知識の向上のため、研修会を行った。さらに、地域の森林づくりをトータル的に指導できる人材の育成研修に参加した（1人）。
3	林業担い手社会保障制度等充実対策事業	20,610	19,612	林業従事者の社会保障の充実のため、以下の事業を実施した。 ・林業退職金制度加入促進事業 ・林業社会保険制度加入促進事業 ・林業労働者任意災害補償保険助成事業
4	低コスト林業基盤整備サポート事業	66,213	65,790	搬出間伐の推進を図るため、作業道整備及び高性能林業機械レンタル経費を一体的に支援した。
5	農林大学校林業研修部事業	26,330	23,611	新規就業希望者を実践的な技術と知識を持った即戦力となる技術者に育成するとともに従事者のスキルアップを図った。

II 林業振興費

1	森林整備地域活動支援交付金事業	14,096	11,629	森林の多面的機能を一層高度に発揮させるため、森林所有者等が行う計画的かつ適正な森林施業の実施に不可欠な地域活動に対し支援した。
2	紀州材需要拡大対策支援事業	123,101	117,245	紀州材の需要拡大を図るため、乾燥紀州材を使用する住宅建築に係る経費や、県民が利用する公共施設等の整備に対して助成した。
3	紀州材販路拡大支援事業	16,805	13,968	紀州材の販売促進を図るため、木材の大消費地である首都圏等における展示会出展や産地見学会開催等への助成、商談会の開催などを行った。また、非住宅建築物の木造化に関して、連続講座を開催した。

III 山村振興対策費

1	住みよい山村集落総合対策事業	44,373	43,128	山村資源の活用及び集落基盤の整備を総合的に支援し、安全・安心な活力ある山村集落づくりを行った。
---	----------------	--------	--------	---

事業名	事業費	補助金	事業内容
「山の恵み」活用	44,057	12,807	生産・加工・販売施設等整備支援 21箇所
山村のくらし支援整備	27,005	10,668	生活環境施設整備 1箇所 生活関連道路整備 2箇所

事業名	事業費	補助金	事業内容
山の基盤機能回復	43,056	18,107	作業道路面補修等 21路線
きのこ安定供給緊急支援	2,639	1,319	きのこ原木の購入差額補助 1組合

IV 林 道 費

1 補助林道事業	586,519	522,194	〔 翌年度繰越額 64,325〕
2 森林路網整備促進事業	82,800	0	

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資するため、市町村が実施する林道の開設・改良・舗装を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	6 路線	381,344	230,494
	改 良	6 路線	297,150	160,481
	舗 装	7 路線	206,800	113,740

間伐等森林整備の促進及び木材生産量の増大を図るため、間伐地と林道等を結ぶ路網の整備に対する補助の手続きを進めた。

(前年度繰越分)

1 補助林道事業	13,860	13,860
2 森林路網整備加速化事業	88,600	77,000

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資するため、市町村が実施する林道の開設を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	2 路線	22,600	13,560

間伐等森林整備の促進及び木材生産量の増大を図るため、間伐地と林道等を結ぶ路網の整備を支援した。

森 林 整 備 課

I 林 業 総 務 費

1 保安林整備管理事業	4,671	4,128
-------------	-------	-------

国土の保全（災害の防備）、水資源のかん養、生活環境の保全・形成等の公益目的を達成するために、特にこれらの機能を発揮させる必要のある森林を保安林に指定し、その森林の保全と適切な森林施業の確保を行った。また、公益上の理由（道路用地への転用等）により保安林の指定の解除を行った。

・指定 12箇所 137 h a

2	「企業の森」推進事業	2,901	2,512	<ul style="list-style-type: none"> ・変更 99箇所 6,977 h a ・解除 11箇所 8 h a <p>環境貢献に関心のある民間企業等の資金や人材の導入により産官連携した森林整備・環境貢献等を進めるため、個別企業・労働組合に対し本事業への参画を要請した。</p> <p>また、「企業の森」普及のため、これまでの企業訪問やダイレクトメール、環境展出展に加え、経済連自然保護協会の環境講座において、和歌山県「企業の森」事業の活動事例等について講演を行い、講座に参加した在京企業27社に対し事業PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度新規箇所 3箇所 (新規参画企業等 2企業) <p>森林を県民の財産として守り育て次の世代に引き継ぐため、間伐等の森林整備、森林の公有林化、子供達への森林学習及び県民が広く参加するための公募事業等を行った。</p>
3	紀の国森づくり基金活用事業	300,207	289,329	<p>森林を県民の財産として守り育て次の世代に引き継ぐため、間伐等の森林整備、森林の公有林化、子供達への森林学習及び県民が広く参加するための公募事業等を行った。</p>

II 森林病虫害防除費

1	森林病虫害等防除事業	38,893	37,076	<p>森林病虫害等防除法に基づき、特別防除・地上散布・樹幹注入による予防措置、伐倒駆除・特別伐倒駆除による駆除措置を実施した。</p> <p>平成29年度末被害材積は、398m³ (対前年度比115%)となった。</p>
---	------------	--------	--------	---

	特別防除 (h a)	地上散布 (h a)	伐倒駆除 (m ³)	特別伐倒駆除 (m ³)	樹幹注入 (薬剤本数)
県営事業	—	29.0	—	—	84
損失補償	116.0	110.7	50.0	116.50	—
奨励事業	—	24.0	—	—	341
県単事業	—	78.0	—	—	686
計	116.0	241.7	50.0	116.50	1,111

III 造林費

1	優良種苗育成事業	7,006	4,326	<p>抵抗性まつ等の優良な種苗の育成とすぎ・ひのき種子の供給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抵抗性まつ種子採取量 1,850 g ・抵抗性まつ苗出荷本数 709本 ・すぎ種子 14.47 k g ・ひのき種子 33.12 k g
2	植物公園緑花センター等管理事業	73,526	73,329	<p>緑と花を楽しめる野外レクリエーション施設である植物公園緑花センター及び根来山げんきの森の管理運営を特定非営利活動法人根来山げんきの森倶楽部に指定管理委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度植物公園緑花センター入園者：190,022人
3	森林環境保全整備事業	592,884	467,251	<p>木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施</p>

4 花粉症対策苗生産基盤整備事業	9,000	6,544	125,633	翌年度繰越額

した。

・森林整備 1,813 h a (うち間伐1,147 h a)

花粉症対策苗の県内外の需要に対応し、供給量の増大を図るため、花粉症対策苗の母樹林の整備を行った。

・採穂園の整備 0.70 h a

(前年度繰越分)

1 森林環境保全整備事業	454,835	435,529
--------------	---------	---------

木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施した。

・森林整備 1,308 h a (うち間伐1,145 h a)

IV 治 山 費

1 一般治山事業	1,935,056	1,410,335	524,650	翌年度繰越額

山地治山総合対策をはじめ水源地域等保安林整備・農山漁村地域整備交付金事業により、59箇所(の)の荒廃地及び山地災害危険箇所の整備を実施した。また、山地に起因する地すべり被害防止のため抑制工事を行った。

事業名	箇所数	うち補分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	18	2	1,089,097	312,262
水源地域等保安林整備	23	1	306,504	60,405
農山漁村地域整備交付金(治山費)	18	-	539,384	-
計	59	3	1,934,985	372,667

2 県土防災対策治山事業	167,172	167,171
--------------	---------	---------

人家・公共施設に接する裏山等の崩壊に伴う復旧工事及び防災工事や治山施設に係る小規模な災害に伴う維持修繕に対し、県営及び市町村補助として実施した。

施行主体	箇所数	事業費
県	32	160,348
市町村	4	6,823
計	36	167,171

3 民有林直轄治山事業負担金事業	266,585	240,362
------------------	---------	---------

台風12号災害箇所のうち、事業規模が著しく大きく、高度な技術を要する箇所において国が実施した事業に係る負担金を支出した。

実施箇所(市町村)	箇所数	負担金
田辺市	6	240,362

(前年度繰越分)

1 一般治山事業 134,777 134,777

山地治山及び交付金により7箇所の荒廃地の整備を実施した。

事業名	箇所数	うち補正分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	5	2	116,204	68,340
水源地域等保安林整備	-	-	-	-
農山漁村地域整備交付金(治山職)	2	-	18,573	-
計	7	2	134,777	68,340

V 県有林費

1 県有林経営管理事業 30,016 15,287
 (翌年度繰越額)
 14,112

県有林の保育管理を行い、基本財産の造成を図った。

- ・県有林管理面積 4,465 h a

水産振興課

I 水産業総務費

1 漁業金融制度資金利子補給等助成事業 10,911 9,833

2 南紀白浜空港を活用した水産物販売促進事業 2,740 1,058

漁業の近代化及び経営の安定を図るため、資金の借入に対する利子補給及び信用保証料補助を実施した。

- ・融資額 256,560
- ・融資件数 27件

県産水産物の知名度向上と販路開拓を図るため、南紀白浜空港を活用した首都圏での販売促進を行った。

II 水産業振興費

1 栽培漁業推進事業 2,613 2,578

2 栽培漁業センター運営事業 60,307 59,402

3 ブルーツーリズム推進事業 3,579 1,701

4 漁業複合経営グループ創出事業 12,850 5,086

栽培漁業を推進するため、稚魚・稚貝の放流効果に関する調査及び中間育成の指導等を行った。

栽培漁業を支援するため、栽培漁業センターを運営し、漁業者等に放流用種苗を供給した。

漁村が持つ豊かな観光資源を活用し、漁家所得の向上を図るため、市町等が実施する体験交流施設等の整備に対する補助を実施した。

漁家所得の向上を図るため、漁業者グループが複合経営を開始するにあたり、漁業用設備の取得経費に対する補助を実施した。

III 水産業協同組合指導費

1 漁協等再建支援事業	1,006	269
2 漁家経営改善対策事業	5,034	5,033

欠損金解消のため経営改善計画に取り組んだ漁協等に対して利子補給を行った。
漁業者負担軽減措置を講じる漁協に対して、事業改革のために借入れた資金の償還に要する経費の補助を実施した。

IV 漁業構造改善費

1 水産基盤整備事業	278,302	30,081
		〔翌年度繰越額〕 248,200

沿岸漁場の整備拡充を図るため、公共事業による魚礁設置事業等を推進した。

事業種類	実施場所	事業量
マダイ増殖礁	和歌山市和歌浦地先	12基
底びき網漁場掃海	和歌山市沖合	5.3km ²
	有田市沖合	5.9km ²

資源管理課

I 水産業総務費

1 漁船調整事業	1,977	1,128
----------	-------	-------

漁船登録事務の維持・適正化を図るため、漁船の建造等調整及び20トン未満漁船の測度を実施した。

[和歌山県内登録漁船隻数：4,638隻]

新規登録隻数	239隻
変更登録隻数	129隻
建改造等許可件数	37件
測度実施隻数	7隻

II 水産業振興費

1 内水面漁業振興対策事業	8,566	8,026
2 漁場環境保全等モニタリング事業	2,882	983
3 資源管理・回復推進事業	2,326	2,227

あゆ、あまご種苗の放流等の取組を支援した。

魚種	放流量	放流河川数
あゆ	45 t	13
あまご	51万尾	10

赤潮、貝毒に対処するため、漁場の環境及び貝毒量の監視を行った。

TAC（漁獲可能量）制度の対象となる、まあじ、さば類、まいわし、さんま、するめ

いかについて、漁獲割当量の県内再配分及び管理を行った。また、漁業版所得補償制度の基礎となる資源管理計画の策定指導及び管理を行った。

Ⅲ 漁業取締費

1 漁業取締事業

121,081

114,799

本県地先海面における漁業秩序の維持確立を図るため、漁業違反船舶に対する取り締まりを実施した。また、遊漁船業者へのライフジャケット着用等安全指導を実施した。

違反検挙件数	6件
法令指導件数	84件
安全指導件数	7件